

**製品名: MAP2K4 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM80951**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	42kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MAP2K4
別名	JNKK; MEK4; MKK4; SEK1; JNKK1; SERK1; MAPKK4; PRKMK4; MAP2K4
遺伝子 ID	6416.0
SwissProt ID	P45985
免疫原	大腸菌で発現したヒト MAP2K4 の精製された組み換え断片。

**背景**

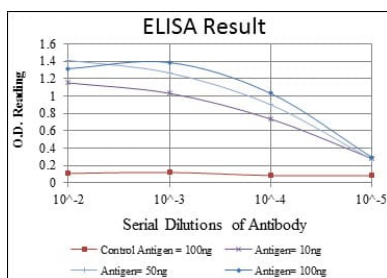
この遺伝子は、Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリーに属する二重特異性タンパク質キナーゼをコードしています。このキナーゼは、様々な環境ストレスや細胞分裂刺激に反応して MAP キナーゼを直接活性化します。MAPK8/JNK1、MAPK9/JNK2、MAPK14/

p38 を活性化しますが、MAPK1/ERK2 や MAPK3/ERK3 は活性化しません。このキナーゼは MAP3K1/MEKK によってリン酸化され、活性化されます。マウスを用いたノックアウト研究では、このキナーゼが T 細胞発達における生存シグナルの媒介、および肝臓の器官形成において役割を果たしていることが示唆されています。組織特異性：骨格筋で豊富な発現が認められます。また、他の組織でも広く発現しています。

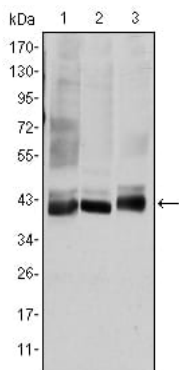
## 研究分野

アポトーシス、TGF- $\beta$ シグナル伝達経路、MAPKシグナル伝達経路、Jak-STATシグナル伝達経路

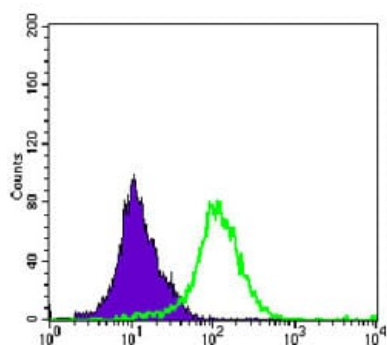
## 画像データ



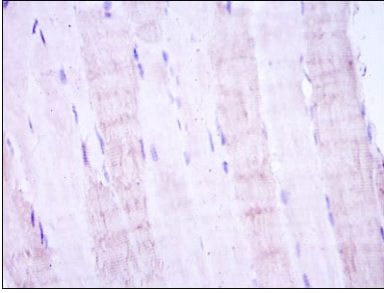
赤: コントロール抗原 (100 ng); 紫: 抗原 (10 ng); 緑: 抗原 (50 ng); 青: 抗原 (100 ng);



HepG2 (1)、K562 (2)、および HEK293 (3) 細胞溶解物に対する MAP2K4 マウス mAb を使用したウエスタンブロット解析。



MAP2K4 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (紫) を使用した K562 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色による MAP2K4 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト筋肉組織の免疫組織化学分析。